



りすのしっぽ

いつの間にかセミの声が聞こえ始め、季節はすっかり夏になりました。待ちに

待ったプールもようやく始まり、子どもたちはたくさん水と触れ合って楽しく

過ごしています。汗をかく時期になりましたので、着替えは多めに入れて

ください。よろしくお願いいたします。

★7月のりす組★

夏祭りに向けてちょうちん作りをしました。絵の具を画用紙や子どもたちの手に

つけて、フィンガーペインティングという技法で色を付けました。手形などで手に

絵の具をつけることはありましたが、手につけた絵の具を画用紙いっぱい塗り広げる

ことは初めてだった子も多く、感触に驚く子や手についた絵の具で画用紙に色をつけ

楽しむ子など、反応は様々でした。撫でるように色をつけたり、ポンポンと

スタンプのように色をつけたりと一人一人の個性が光るちょうちんができました。また

持ち帰りますので、飾ってみてください。

また、お兄さんお姉さんたちが朝のお集りの後に夏祭りの盆踊りを練習していた

ので、一緒にホールに出て練習しました。難しい動きも多いですが、ジャンプしたり



手をあげたり腰を振ったり、見よう見まねで楽しんでいま

した。明日の夏祭りでも音楽が流れると自然に体を動かして

踊ってくれると思いますので、ぜひご参加ください。

☆エピソード記録☆

室内遊びではよく布やカバンなどで遊びます。最初は保育教諭が給食の時にしているようにバンダナを頭に巻いたり、体に巻いたりして楽しんでいました。あるとき、Aちゃんが床に寝転んで体に布をかけていました。

Aちゃん「ごろーん、ねんね」
 Bちゃん「Aちゃん、ねんね？」
 保育教諭「ほんとだ、ねんねしてるね」
 Bちゃん「Bちゃんも！ねんね～」



同じようにBちゃんも掛布団のように布を自分にかけて、「ねんねごっこ」を楽しんでいました。

Aちゃん「おはよう！起きたよ！ご飯食べよう！」
 Bちゃん「おはよう！ご飯！」

AちゃんとBちゃんは二人でそのまま朝起きてご飯を食べるごっこ遊びを始めました。二人で繰り返し遊んでいるうちに、数人集まってみんなで遊んでいました。

※このことから、自分の生活経験を遊びの中に取り入れていることがわかります。何気ない遊びも、経験したことを思い出しながら遊んでいることが子どもの成長にはとても大切です。そうして遊んでいく中で他の子のことを真似したり、ごっこ遊びに参加したりしながら、コミュニケーション能力も培っていきます。

☆絵本紹介☆



「たまごのうた」

給食前や午睡前に読んでいる本です。卵からひよこ、かいじゅう、へびが出てきます。「ぱちんと割れて」で上手に手をたたいて、ひよこやかいじゅう、へびになりきっています。卵の大きさに合わせて卵を表現して、身振り手振りで表現し、とても楽しんでます。



7月31日で
 まつい かずはちゃんが、退園します。

♡また遊びに来てね♡

